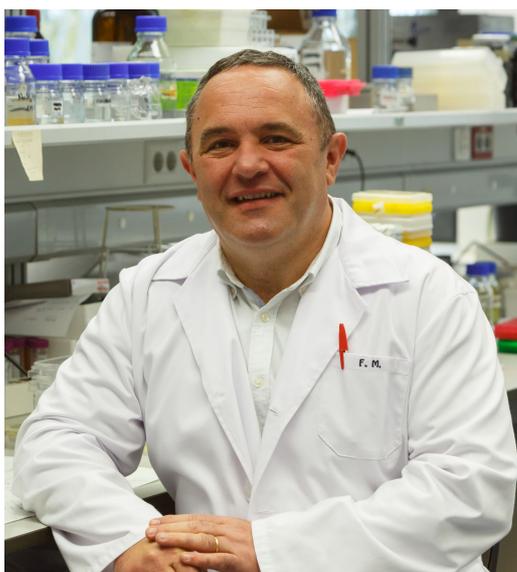


スペイン CSIC およびナバーラ州立大学の Javier-Pozueta Romero 教授が新潟大学リエゾンプロフェッサーに就任しました。

スペイン CSIC*1-UPNA*2 農業バイオテクノロジー研究所*3 にて教授を勤められているハビア=ポズエタ・ロメロ博士が、2018年7月11日付で新潟大学のリエゾンプロフェッサーに就任いたしました。

ロメロ博士は植物分子生理学および微生物学の分野で、糖質代謝研究を中心に数多くの優れた業績をあげてきました。新潟大学との共同研究も多く、農学部との交流協定および大学間交流協定を背景に、活発な交流を続けています。最近では、KAAB のプロジェクトや EIG CONCERT-Japan などの国際共同研究を実施しており、リエゾンプロフェッサーとして引き続き新潟大学との国際交流の発展、および研究・教育活動にご協力頂く予定です。



Professor Dr. Javier Pozueta-Romero
Institute of Agrobiotechnology,
CSIC / Public University of Navarre,
Spain

I highly appreciate your meritorious contribution to the international exchange and global networking of Niigata University and hereby confer the title of LIAISON PROFESSOR of Niigata University on you for five years from the date written below.



Sugata T.
Sugata TAKAHASHI
President
Niigata University

Date: July 11, 2018

*1 スペイン高等科学研究 (Consejo Superior de Investigaciones Científicas)

*2 ナバーラ州立大学 (Universidad Pública de Navarra)

*3 農業バイオテクノロジー研究所 (IdAB : Insitute de Agrobiotecnologia)